

(正誤表)

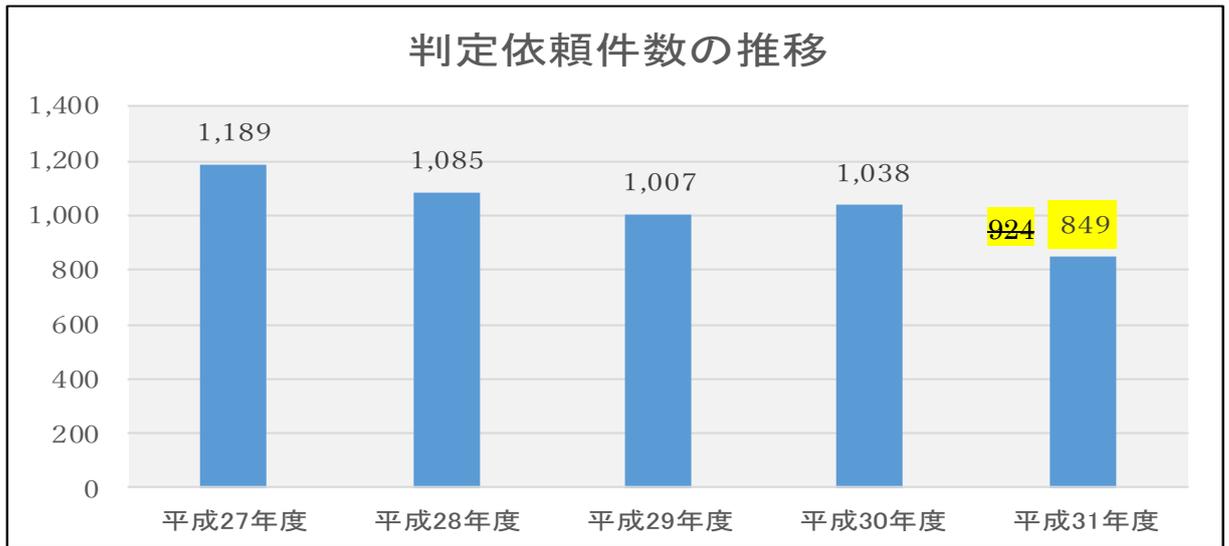
平成 31 年度判定依頼・判定件数

区 分		来 所	計	構成比
判定依頼件数		1,038 849	1,038 849	—
判定依頼内容	更生医療	274 235	274 235	26.3 27.7%
	補装具	614	614	73.7 72.3%
	職業	0	0	0.0%
	施設	0	0	0.0%
	生活	0	0	0.0%
	その他	0	0	0.0%
	計	1,038 849	1,038 849	100.0%
判定内容	更生医療	281 283	281 283	26.3 30.8%
	補装具	635	635	73.7 69.2%
	心理判定	0	0	0.0%
	職業判定	0	0	0.0%
	その他	0	0	0.0%
	計	1,062 918	1,062 918	100.0%
判定書交付件数		1,062 918	1,062 918	100.0%

※ 来所には、書類による判定を含む

(1 1) 判定依頼件数の過去 5 年間の推移

相談・判定 件数の推移	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
	1,189	1,085	1,007	1,038	924 849



(1 2) 来所・巡回別実施判定依頼件数の過去5年間の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
来所	1,189	1,085	1,007	1,038	924 849
巡回	0	0	0	0	0
計	1,189	1,085	1,007	1,038	924 849

※ 来所には、書類による判定を含む

※ 巡回は平成22年度をもって廃止

(1 3) 判定依頼状況の過去5年間の推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
更生医療	337	304	277	273	234 235
補装具	852	781	730	765	628 614
心理判定	0	0	0	0	0
手帳診断	0	0	0	0	0
職業判定	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	1,189	1,085	1,007	1,038	859 849

(14) 更生医療の判定件数

医療内容例		件数	比率
心臓機能障害	バイパス術	15	6.2 5.3%
	弁置換術・弁形成術	14	5.8 4.9%
	ペースメーカー植え込み術	1	0.4%
	その他	0 1	0.0 0.4%
じん臓機能障害	透析療法	113	46.7 39.9%
	免疫抑制療法	3 43	1.2 15.2%
	腎移植	25	10.3 8.8%
肢体不自由	人工関節置換術・他	37	15.3 13.1%
	その他	3	1.2 1.1%
肝臓障害	肝臓移植	2	0.8 0.7%
	免疫抑制療法	4	1.7 1.4%
免疫機能障害	免疫調整療法	18	7.4 6.4%
聴覚・音声・言語機能障害	人工内耳	3	1.2 1.1%
	顎形成・歯列矯正・他	4	1.7 1.4%
視覚障害	水晶体再建術	0	0.0%
計		242 283	100.0%

(15) 補装具判定の状況

補装具の判定は、装具が最も多く 37.6 40.0%、次いで補聴器が 24.6 18.3%、車いすが 12.6%となっています。

平成31年度補装具の判定件数

種目	件数	比率
車いす	80	12.6%
電動車いす	48	7.6%
義肢	42	6.6%
装具	254	40.0%
補聴器	116	18.3%
眼鏡	0	0.0%
その他	95	15.0%
計	635	100.0%